

# レーザ加工学会論文集執筆要領

Instructions for the Preparation of Camera-Ready Manuscripts for Proceedings of the JLPS National Conference

阪大太郎, 産総次郎\* (阪大院工, \*産総研単一分子ラボ)

Taro HANDAI, Jiro SANSO\*

(Graduate School of Engineering, Osaka Univ., \*National Institute of Advanced Industrial Science and Technology)

明朝体 12ポイント

全角スペース

Times New Roman  
10ポイント

1行

## 1. 緒言

論文集の原稿作成にあたっては、本執筆要領を熟読の上ご執筆下さい。本執筆要領もここで定める様式に沿って書かれていますので、参考にして下さい。

本執筆要領はMicrosoft Wordにて作成、仕上げることを前提に作成されています。各見出しや本文などの対応する箇所を上書き、あるいはテキストファイルからコピー&ペーストすれば、所定の書式に自動的に仕上がります。これ以外のソフトウェアを使用される場合も、本執筆要領に準じて下さい。

原稿は、メールにてJLPS事務宛にご送付ください(jlps@jlps.gr.jp)。お使いのプロバイダ等で送信制限が加えられていない限り、レーザ加工学会側では5Mbyteのメールまで受信できます。ファイルサイズ等の関係でメールでの送信が困難な場合は、CD-R等の記録メディア、印刷物でも結構です。ただし、印刷物を提出される場合はレーザプリンタと同等品質、グレースケール印刷をお願いします。

## 2. 原稿の書き方

### 2.1 原稿全般

用紙はA4(白地)縦向きとし、余白を上下22mm, 左右19mmずつとって、その中に原稿を納める(版面172mm×253mm)。フォントサイズは10ポイント、行間最小13.6ポイント、文字送り最小9ポイント。

大見出しは左詰めで、全角スペースの後に書く。中見出し、小見出しは左詰めで、全角スペースの後に書く。

行頭・行末禁則文字を設定する。上下付き文字は行頭禁則とする。

欧字、数字は半角文字を使用する。欧字、数字のフォントは論文全体を通じて統一する。

量記号はイタリック体(斜体)、単位記号、演算記号はローマン体(立体)とする。

句読点は、「.」「,」ではなく、「.」「,」(ピリオド、コンマ)を用い、全角とする。

### 2.2 記号・単位

小見出し(項)にはゴシック体, Bold

#### 2.2.1 記号

体を用いない

単位は原則としてSI単位を用いる。記号に続く単位には[]をつけ、数値に続く単位には[]をつけない。たとえば、 $h$  [W/m<sup>2</sup> K], 17.4 W/m<sup>2</sup> K

### 2.3 数式

数式は、大文字、小文字、上ツキ、下ツキなどがはっきりわかるようにする。

式中での括弧の順序は原則として{{( )}}とする。式が途中で切れるときは、次行のはじめに×,+,-をつける。

式番号は各式の右端に通し番号をつける。本文中では式(1)(太字)のように書く。

### 2.4 図表および写真

図表の表題、説明文などは日本語でもよいが、英文併記が望ましい。番号は表1(Pゴシック体)、表1(Pゴシック体)のように表す。

写真は図として取り扱う。したがって番号も図と同じ通し番号を使用する。

写真は鮮明なものを使用する。

図表(含写真)は、原則として著者のオリジナルを使用する。やむを得ず他の文献等から転載する場合は、著者自ら原著者に許可をとり、出典を明らかにした上で掲載する。

## 3. 参考文献

参考文献は本文中のその項目に<sup>(1)</sup>のように上付き通し番号をつけ、最後にまとめて書く。

参考文献の略し方は原則として科学技術文献速報に従う。文献番号を縦にそろえ、文献自体も行頭をそろえる。

フォントサイズは10pt、行間最小13.6ptとする。

参考文献が英文の場合、著者名は姓、名(頭文字)を記載する。

文献の引用は、雑誌は、著者名: 論文の表題, 雑誌名, 巻数(ボールド体)-号数, (発行年・西暦), 通巻ページ. の順に書く。単行本は、著(編)者名: 書名, 出版社, 発行地(欧文のみ), (発行年・西暦), 引用ページ. の順に示す。

参考文献は入手可能なものに限り、投稿中の論文は引用しない。

## 参 考 文 献

(1) Gutierrez, G. and Jen, T.-C.: Numerical Simulation of Non-Linear Heat Conduction Subjected to a Laser Source, Int. J. Heat Mass Transfer, 43-12, (2000), 2177.

(2) Filgas, D.: Advances in High-Power CW YAG Lasers and Fiber Optics Beam Delivery, Proc. of ICALEO'92, (1992), 63. (2004年4月, 初版作成)